

## ライフケアガーデン熱川

富岡光(介護福祉士)

功 績	コロナクラスターで介護チームが不在の中、的確な判断と指示で職員をまとめ、困難を乗り越えた功績。
推 薦 者	竹井達也(ホーム長)
推 薦 理 由	ホーム長の立場からするととてもありがたい存在であり、かつ管理職に興味が出てきており介護チームを目指そうとする姿は、理事長賞候補に推薦するに値します。

### 内 容

---

ライフケアガーデン熱川に入職してもうすぐ14年が経ちます。35歳と若く、見た目は少しヤンチャな感じがありますが、入居者さんからも職員からも人気があります。

12月12日別館ご入居者2名のコロナ感染が発生し、1月8日の収束まで約4週間。入居者さん、ご家族の皆様、関係各所に大変なご心配をおかけしました。

別館でのコロナ発生は初めてのことであり、職員も5名が罹患し大変な苦労だったと思います。どんどんと罹患される入居者さんと職員、いつ終わるかわからず不安な状況でした。

クラスターが発生する前に、家庭内感染でコロナ罹患しお休みをしていました。

復職後しばらくしてクラスター発生となったのですが、自らの罹患体験を元に、率先して陽性者の対応に当たっていました。職員の中には「陽性者対応が怖い」と思う者も少なからずいる中、とても頼もしく、その姿をみて他の職員も同じように陽性者対応をしてくれました。

そんな中、介護チームが家庭内感染で罹患し、リーダー不在となってしまいました。職員も入居者さんもバタバタと倒れていく中、リーダー不在は精神的にも肉体的にも辛い状況だったはずですが。そのような状況下で、富岡は率先して自分の休みを削り、全体の状況を把握し、的確な判断と指示をし、介護職員をまとめていました。

少ない人数でもできることを考え、なるべく入居者さんにご迷惑をかけないように配慮し、中止にしていた入浴も、感染を拡げないよう一人ずつ入っていただくことにして、入居者さんの希望も叶えていました。

結果的には、4週間と長い時間がかかり多くの感染者がありましたが、リーダー不在の中、一人ひとりが自らできることを考え、協力し助け合いながら困難を乗り越えたという体験は、富岡だけではなく関わる職員全員の成長となり、「ピンチはチャンス」の言葉通り、これから降りかかる試練にもワンチームで挑んでいけるのではないのでしょうか。

今回そのチームを率いた富岡には、次のリーダー候補として適任であり、未来は明るく、安心です。